

第3回 かかりつけ薬剤師 インターネットシンポジウム



日時 2017年8月29日(火) 19:00～21:00

場所 八女グリーンホテル 2階 会議室
八女市本町東紺屋町29-6

座長

医薬情報研究所(株)エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者
一般社団法人 日本女性薬局経営者の会 会長

堀 美智子 先生

講演 1

**地域包括ケアシステムの理解と薬剤師の役割
～残薬問題を踏まえて～**

株式会社メディカルグリーン 代表取締役 **大澤 光司** 先生

講演 2

**薬剤師のための骨粗鬆症情報
～ABCから最新の話題まで～**

鳥取大学医学部 保健学科 教授 / 附属病院リハビリテーション部 部長 **萩野 浩** 先生

講演後に質疑応答の時間を設けております。

※本セミナーは、公益財団法人 日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度における
グループ研修受講単位(1単位)を申請できます。

主催 ファイザー株式会社

座長ご紹介

堀 美智子 (ほり みちこ) 先生 医薬情報研究所(株)エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者



一般社団法人 日本女性薬局経営者の会 会長
 一般財団法人 日本ヘルスケア協会 理事
 一般社団法人 日本薬業研修センター 医薬研究所所長
 一般社団法人 日本臨床栄養協会 理事

名城大学薬学部薬学科卒業・同薬学専攻科修了。名城大学薬学部医薬情報室・帝京大学薬学部医薬情報室に20年勤務の後、1998年に医薬情報研究所(株)エス・アイ・シー設立に参加。八王子にアンテナショップとして開設した公園前薬局を運営しながら、各種データベースの作成や書籍作成に携わっている。1998～2002年日本薬剤師会常務理事を務めた。現在、ラジオNIKKEI第1「健康ネットワーク」のパーソナリティーを務めている。近著として、「OTC薬ハンドブック」(じほう 2013)「薬局トリアージ」(じほう 2013)「OTC薬ガイドブック」(じほう 2013)「処方せん・店頭会話からの薬剤師の臨床判断」[Dr. 林とPh. 堀の臨床判断](じほう 2015)「7日間どうかる! 登録販売者テキスト&問題集」(日本経済新聞社 2016)などがある。初のエッセイ集「薬剤師が読む枕草子」を2013年9月に出版。

講演 1

地域包括ケアシステムの理解と薬剤師の役割 ～残薬問題を踏まえて～

株式会社メディカルグリーン 代表取締役 **大澤 光司 先生**

団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、国は「地域包括ケアシステム」の構築に本腰を入れています。地域包括ケアシステムを完成させるためには、医療スタッフが協働・連携するチームによる在宅医療を推進する事は、非常に重要と考えます。そんな中で、薬剤師も医療スタッフのチームの一員として、積極的に在宅業務に取り組む事が必須になってきます。今回のシンポジウムでは、このような時代背景を踏まえて、今後、薬剤師が取り組むべき在宅業務について、残薬という観点を踏まえて、今後の薬剤師に必要とされると思われるスキルや考え方についてお伝えしたいと思います。

演者ご紹介

大澤 光司 (おおさわ こうじ) 先生 株式会社メディカルグリーン 代表取締役



薬剤師 (現職)
 1983年 東京薬科大学薬学部 卒業 一般社団法人 栃木県薬剤師会 会長
 1983年 株式会社 紫山堂(シザンドウ)薬局 勤務 一般社団法人 全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 会長
 1986年 株式会社 大沢調剤薬局 開局 蔵の街コミュニティケア研究会 代表世話人
 2004年 株式会社 メディカルグリーン 代表取締役 他
 2010年 一般社団法人 全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 会長
 2014年 一般社団法人 栃木県薬剤師会 会長

講演 2

薬剤師のための骨粗鬆症情報 ～ABCから最新の話まで～

鳥取大学医学部 保健学科 教授 / 附属病院リハビリテーション部 部長 **萩野 浩 先生**

骨粗鬆症は骨強度が低下し骨折しやすくなった状態と定義され、腰痛などの症状が全く無くても骨密度低下や骨折の既往によって骨粗鬆症と診断される。骨粗鬆症の病態は、破骨細胞による骨吸収の亢進に骨芽細胞による骨形成が追いつかない状態である。したがって治療薬は破骨細胞の骨吸収を抑制する“骨吸収抑制剤”と骨芽細胞の骨形成を促進する“骨形成促進剤”とに分かれる。本講演では骨粗鬆症の基本事項について説明する。

演者ご紹介

萩野 浩 (はぎの ひろし) 先生 鳥取大学医学部 保健学科 教授 / 附属病院リハビリテーション部 部長



昭和57年3月 鳥取大学医学部 医学専門課程 卒業 (所属学会等)
 昭和63年4月 鳥取大学 整形外科 助手 日本整形外科学会(専門医)、日本骨粗鬆症学会(理事)
 平成 3年3月 クレイトン大学(米国ネブラスカ州) 骨粗鬆症センター留学 日本リハビリテーション学会(代議員・専門医・指導医)
 平成 4年5月 鳥取大学医学部 整形外科 講師 日本運動器科学会(評議員)
 平成14年4月 鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 助教授(副部長) 日本リウマチ学会(評議員・指導医)
 平成16年4月 同部 部長 日本骨代謝学会(評議員)、日本転倒予防学会(理事)
 平成20年4月 鳥取大学医学部 保健学科 教授 国際骨粗鬆症財団(IOF)アジア太平洋地域代表
 Fragility Fracture Network (FFN) Board Member
 日本骨形態計測学会(理事)、日本臨床リウマチ学会(評議員)